

県内経済の動き

基調判断 横ばいとなっている

製造業	→	横ばい	公共工事	→	持ち直しの動き
大型小売店販売動向	→	天候の影響で一時的に弱い動き	観光	→	一部に弱い動き
乗用車販売動向	→	横ばい	雇用	→	高水準が続く
住宅着工	→	横ばい	企業倒産	→	低水準が続く

[直近の3ヵ月の変化の方向] → 上向き → 横ばい → 下向き

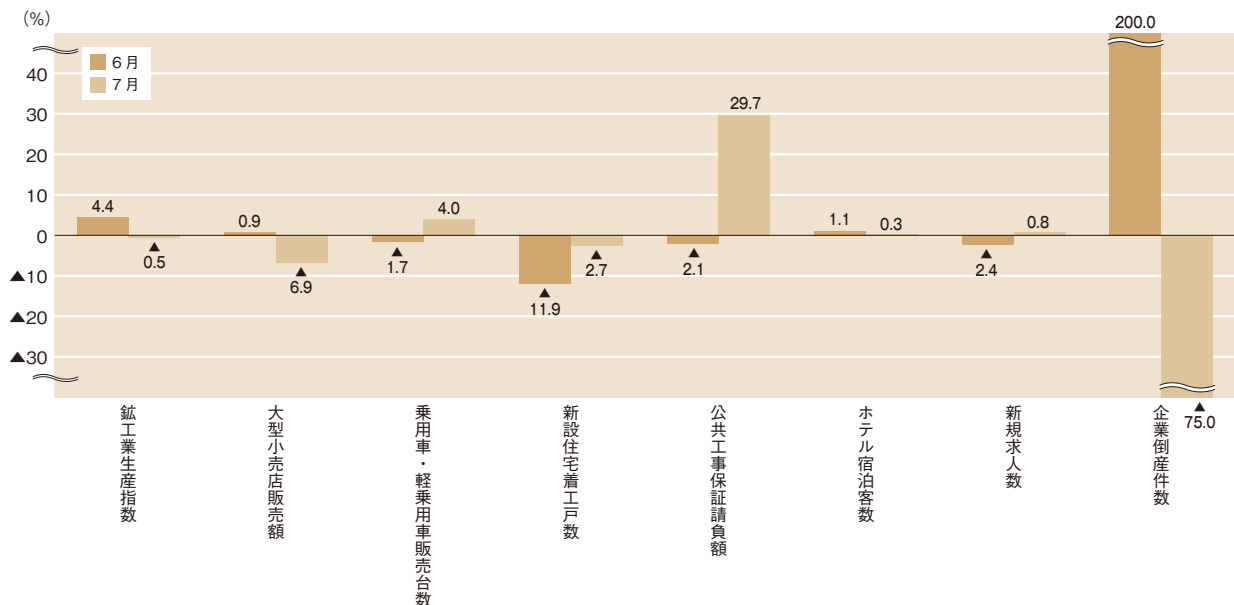
注) 1. 大型小売店販売動向は、百貨店・スーパー・専門量販店（家電大型専門店・ドラッグストア・ホームセンター）の販売動向

大分県の主要経済指標の動き

	2018.7	8	9	10	11	12	2019.1	2	3	4	5	6	7
鉱工業生産指数	○	○	●	○	○	●	○	○	●	○	○	●	—
大型小売店販売額	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	○	○	●
乗用車・軽乗用車販売台数	○	○	●	○	○	●	○	○	●	●	○	●	○
新設住宅着工戸数	○	○	●	●	●	○	●	○	●	○	○	●	●
公共工事保証請負額	●	○	●	○	○	●	●	●	●	○	●	●	○
ホテル宿泊客数	●	○	○	●	○	○	●	○	●	○	○	○	○
新規求人数	○	○	●	○	○	●	○	○	●	●	●	●	○
企業倒産件数	●	○	○	○	●	○	○	●	●	○	●	●	○
プラス指標の割合	50.0	87.5	25.0	75.0	62.5	37.5	50.0	62.5	0.0	62.5	62.5	25.0	71.4

- 注) 1. 指標は前年同月比較 ○=前年比好転 △=前年並み ●=前年比悪化
 2. 鉱工業生産指数は公表日の関係から最新月「—」表示
 3. 大型小売店販売額は、百貨店・スーパー販売額と専門量販店（家電大型専門店・ドラッグストア・ホームセンター）販売額の計
 4. 公共工事保証請負額は西日本建設業保証分
 5. ホテル宿泊客数は県内宿泊施設の計。2019年7月31日に2018年分が速速報値から速報値に切り替わったため、前年比が修正されている

県内主要経済指標（6月・7月分の前年同月比）



- 注) 1. 鉱工業生産指数は他の指標の各1ヵ月前の数字
 2. 大型小売店販売額は、百貨店・スーパー販売額と専門量販店（家電大型専門店・ドラッグストア・ホームセンター）販売額の計
 3. 公共工事保証請負額は西日本建設業保証分
 4. ホテル宿泊客数は県内宿泊施設の計。2019年7月31日に2018年分が速速報値から速報値に切り替わったため、前年比が修正されている